

古今和歌集

おく山に紅葉ふみわけ鳴く鹿の
おく^{やま}に^{もみじ}紅葉ふみわけ^な鳴く^{しか}鹿の
声きくときそ秋は悲しき
こえ^{あき}声きくときそ^{かな}秋は悲しき

猿丸大夫

天の原ふりさけみれは春日なる
あま^{はら}天の原ふりさけみれは^{かすが}春日なる
三笠の山に出し月かも
み^{かさ}三笠の山に^{いで}出し^{つき}月かも

安倍仲磨

わが庵は都のたつみしかそすむ
わ^{いほ}が^{みやこ}庵は都のたつみしかそすむ
世をうぢ山と人はいふなり
よ^{やま}世をうぢ山と^{ひと}人はいふなり

喜撰法師

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。